

# 支 部 通 信

日本山岳会山梨支部 第3期第8号  
令和2年6月25日

## 謝 辞

深沢 健三

30歳代のころ、山寺仁太郎さん（故人、会員番号 7717）に「深沢さん、本を読んでもらう。人間、本を読まないとだめだよ」と、よく言われた。会社の先輩でもあった高室陽二郎さん（故人、会員番号 2890）にも「今、何を読んでもらう」と、しょっちゅう聞かれた。近藤信行さん（会員番号 4433）にも同じことを言われた。三人の書齋には、ちょっとした図書館ほどの数の本が並んでいた。

その人たちが、山寺さんを囲む「仁太郎会」というのをつくり、私をその末席に加えてくれた。もう 40 年も前の事だった。飲みながらの話題は、ある時は山の本、ある時は時事問題、ある時は山の思い出話、政治、新聞記事など多彩だった。それぞれの語り口が今でも浮かんで来て懐かしい。楽しく、刺激的な集まりだった。「そうか、これが日本山岳会か」と感心したものだ。 「登る」だけでは終わらない「山の深み」を教えてもらったと感謝している。



こうした先輩たちの刺激があつて、多くの人に「山とは何か」を知ってもらいたいと、支部活動として「山の博覧会」「やまなし登山基礎講座」につながっていった。公益法人化に伴って、他の支部が苦勞していたというが、山梨がこのハードルをスムーズに越えられたのは、先輩たちの遺産があつたからだった。

さらに山梨学院生涯学習センターの全面的な協力に感謝したい。募集事務、会場の無償提供、当日のバックアップなどを引き受けてくれた。窓口として対応してくれた林静雄先生が、会員に加わってくれたのも大きな喜びだった。

最後に、支部の活動に関心を寄せ、参加し、手伝ってくれている支部員の皆様に深く感謝し、退任のあいさつといたします。ありがとうございました。支部の一層の発展を願っております。（深沢健三）

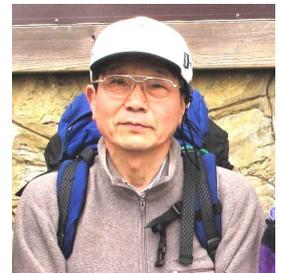
## 就任に当たって

北原 孝浩

4月の支部総会において支部長に選任いただき、5月15日付で古野会長から任命されました。70年余の歴史ある山梨支部の支部長として責任をひしひしと感じています。浅学（岳）菲才であります。一所懸命努める所存であります。皆さまどうぞご協力をお願い申し上げます。

会員の皆さんから資金面でも多大なご支援ご協力を頂きました『甲斐百山』は昨年12月に刊行することができ、好評につき増刷（3刷：第3版）、最終的に1200冊を発刊いたしました。あらためてお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスが流行し感染防止のため、新年度早々に年度計画の見直しを余儀なくされ、9月までの支部山行は中止といたしました。緊急事態宣言解除後も引き続き県や山岳4団体の行動指針等をふまえて、支部活動にきめ細かく対応してまいります。我々の山行などの行事がクラスター発生源になってはならぬことでもあります。



県内山岳会や登山愛好家との永年の交流を通じて、昨今日本山岳会に対して関心が高まり、注目されると痛感することがあります。県山岳連盟傘下の山岳会で公益社団法人は我々のみであり、活動の多くが公益法人に相応しいこと、そのことを考えていくことが肝要と考えます。公益活動の目玉として「やまなし登山基礎講座」を山の日制定記念事業の一環と銘打って2015年に開催し、今年度は第6回を迎えます。これを山の博覧会同様10回目まで実施して行ければと考えます。そして支部主催山行、個人山行の区別なく安全登山を継続実践してまいりたいと思います。

さて、日本山岳会は2025年に創立120周年を迎えます。その記念事業として「日本列島古道踏査」を実施します。当支部は金峰山登拝路「御岳道」とアーネスト・サトウの南アルプス登山「湯道」を担当踏査古道と決めました。今年度は事前調査や情報収集が活動の中心となります。関心のある方はご参加ください。

会員数は70名内外で推移しています。登山基礎講座の受講生をお誘いして支部山行をほぼ毎月実施し、毎年数名の方々を新会員に迎えています。しかし会員の高齢化が進み、他界される方などで会員増に弾みがつきません。仲間を増やし、入会して良かったという思いを持って頂くためにも、より一層魅力ある支部活動について皆さんと模索して行きたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

## 定時総会を開催

4月18日（土）17時10分から17時40分、「日本山岳会山梨支部2020（令和2）年度定時総会が開催された。新型コロナウイルス感染防止対策のため、総会会場は、当初予定していた甲府駅ビル「サロン・ド・エクラン」から、アウトドアショップ「エルク」（甲府市徳行）へ変更された。また例年、総会に合わせて懇親会が行われていたが、中止となった。

総会出席者総数は49名（うち出席16名、委任状提出33名）。正会員数は63名であり、総会は成立した。

総会では、(1) 令和元年度事業報告、(2) 令和元年度収支決算報告および監査報告が、原案通り承認された。(3) 役員改選については、立候補者がなく、理事会提案通りで承認された。深沢健三支部長が退任し、北原孝浩新支部長が選任された。(4) 令和2年度事業計画、(5) 令和2年度収支予算は、原案通り承認された。(6) 公募登山等に係る出張旅費規程は、ともに原案通り承認された。(7) 『甲斐百山』の2版300部増刷および3版500部増刷については、原案通り事後承認された。

今年度の主要な公益目的事業として、第6回やまなし登山基礎講座開催、月例支部山行などのほか、日本山岳会創立120周年記念事業として、5カ年におよぶ「日本列島古道踏査」プロジェクトに着手する。

定時総会は、深沢支部長の退任あいさつ、北原新任支部長のあいさつで締めくくられた。（大澤純二）



密集・密接を避けた会場設営

## 令和2・3年度役員

定時総会において、令和2・3年度の役員が次の通り承認された。支部事業の継続と発展のため尽力したい。また理事会での協議により、専門委員会・担当を下記のように設置した。各事業を具体的に企画・運営する組織として、積極的な活動をお願いしたい。

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
顧問	遠藤 靖彦	諮問への意見	理事	荻原 賢司	山行
	内藤 順造		理事	所 一路	古道踏査
	深沢 健三		理事	遠山 若枝	自然保護
支部長	北原 孝浩	支部統括	理事	矢崎 茂男	広報
理事長	大澤 純二	支部長補佐・議事録	理事	渡辺 峯雄	山行
			理事	窪田 光一	会計補佐
事務局担当	古屋 寿隆	事務総括・登山基礎講座	監事	堀口 丈夫	業務監査
会計担当	小宮山 千彰	会計・事務局補佐・山行		小宮山 稔	会計監査

### 委員会・担当

- 山行委員会：小宮山千彰（委員長）、荻原賢司（補佐）、渡辺峯雄（事務局）、古屋寿隆、大澤純二、池田新二郎、磯野澄也、臼田昌美、澁澤和子、長沢洋、萩野有基子、荏原由美子、黒沼英美
- 古道踏査委員会：所一路（委員長）、大澤純二（事務局）、遠藤靖彦、久保田明宗、深沢健三（以上、アドバイザー）

自然保護担当 : 大澤純二 (JAC 本部登録)、遠山若枝 (補佐)、北原孝浩、古屋寿隆、池田新二郎、磯野澄也、臼田昌美、萩野有基子、高橋みゆき (以上、県岳連登録者)

山岳レインジャー担当 : 古屋寿隆 (責任者)、北原孝浩、大澤純二、渡辺峯雄、池田新二郎、臼田昌美、上田謙治、河内幸子、黒沼英美、高橋みゆき (以上、県岳連登録者)

## 今年度の支部山行—新山行委員長としての考え—

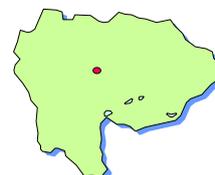
萩原委員長の後任として令和2年度の山行委員長を拝命した。前年度まで山行委員は公募登山を主体に活動してきたが、公募登山は準備に大変な労力を要すことから自ずと山行回数も制限されてしまい、会員の皆様のご要望に沿えない状態だった。そのため本年度は公募登山の回数を制限して、会員山行と個人山行を主体に活動したいと考えている。個人山行では山行委員が個人で登山をする際に会員や登山基礎講座の受講生達に声を掛け、希望者でパーティーを組んで登山を行う。この形態によって山行回数を増やし、山のバリエーションも里山からアルプスまで豊富に提案。さらに参加者には何らかの役割を担っていただき、このことによってステップアップする環境を作っていきたいと考えている。

現在は新型コロナウイルスの影響で登山も自粛しているが、この感染症禍が収束して自由に山へ行けるようになったら皆様にどんどん声をお掛けしたい。積極的なご参加を願う。(小宮山千彰)

## 第6回やまなし登山基礎講座

6回目を迎える「やまなし登山基礎講座」。今回も山梨学院生涯学習センターの協力を得て、秋に開催する予定である。講座の全体構成は、昨年度の内容をベースに座学と実践のバランスを重視した。会場の密集を避けるため定員は20名。登山経験の浅い初級者、登山の基礎を学び直したい中級者を募集対象とする。会員各位には講座運営への協力をいただきたい。(古屋寿隆)

第1回	9月第2週	オリエンテーション、日本山岳会について、山の天気と観天望気
第2回	9月第3週	安全安心登山の基本
第3回	9月第5週	装備・服装・食糧
第4回	10月第2週	地図読み、高山植物と自然保護
第5回	10月10日	実践登山1 <八人山>
第6回	10月第3週	山の救急医療
第7回	10月第4週	ロープワークとセルフレスキュー
第8回	10月24日	実践登山2 <茅ヶ岳>
第9回	10月第5週	山梨の山の文学、山梨の登山史
第10回	11月7日	実践登山3 <鶴ヶ鳥屋山>
第11回	11月第2週	山梨の山岳遭難の現状と対策、山岳写真、修了式



## 古道踏査にご協力を

日本山岳会創立120周年記念事業としての「日本列島古道踏査」に、山梨支部では①「金峰山への登拝路」②「明治14年、アーネスト・サトウの南アルプス登山ルート」の二つを踏査することになった。金峰山登拝路は9筋あると『甲斐国志』に記されているが、これらの道には里宮である金桜神社への「みたけ」の道標を見ることができる。私の住む集落の南を、須玉町若神子から塩川を渡り、茅ヶ岳山麓の原、饅頭峠、清川、金桜神社へ至る道が通っており、「みたけ」の道標や石仏が残っている。

アーネスト・サトウは、幕末から明治にかけて活躍したイギリスの外交官で、武田久吉(日本山岳会創立時の会員、第6代会長)の父である。明治14年7月、彼は丹波山村—柳沢峠—塩山—西部—弓張峠—御岳というルートをとって金峰山に登頂。8月には鰍沢—小室—大峠—奈良田—白河内岳—農鳥岳—間ノ岳—荒川下降—野呂川—夜叉神峠—芦倉という縦走を果たしている。登山中、植物・鉱物を調べ、奈良田では伝説や古語の採集を行っている。この南ア



金峰山山頂の金桜神社本宮

ルプス登山が、今回の踏査対象である。

本事業は、今年から5カ年の計画である。すでに半年が経過しており、早々に資料集めや調査に取りかかりたい。ついては、古道踏査に興味関心がある会員に参加・協力をいただき、事業の達成を目指したい。多くの方の協力をお願いする次第である。(所 一路)

【連絡先:080-5077-2063/0551-25-2063(所 一路)またはjunji.ohsawa@nifty.com(大澤純二)】

## 『甲斐百山』販売状況

会員各位の協力のもとに刊行した『甲斐百山』。前号でもお知らせしたように、登山愛好家の支持を得て売れ行きは大変好調である。12月15日に初版400部、2月4日第2刷300部、3月10日第3刷500部、合計1200部を発行した(2刷・3刷発行は定時総会で事後承認)。6月15日時点で、事務局の在庫は底を突き、販売委託先の書店に数十部を残すのみとなった。

本書の発行は、平成21年、「山梨百名山」に次ぐ秀峰を広く紹介したいという支部役員の提言が発端になって企画された。想定を大きく超えた販売実績から、この提言は的確であったと総括したい。これ以降の増刷はしないことから、1200冊の『甲斐百山』が、様々な形で多くの登山者の目に触れ、活用されて、山梨の山の新しい魅力発見に役立つことを願う。(矢崎茂男)

## 2020年度 山梨県山岳レインジャー委託事業について

本年度山岳レインジャー活動のJACの日程と担当山域は、6月27日からの白根三山、7月11日からの甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳、8月8日からの鳳凰三山の3件であるが、新型コロナウイルスの影響もあり、具体的業務内容はまだ確定していない。

本来は2名1泊2日の行程で希少高山植物種のうち県条例で指定された特定種の調査を行うのだが、昨年の台風19号の影響で南アルプス林道崩壊に伴う通行止めや林道通行規制期間中の公共交通機関の運行の未定、感染症拡大防止のため南アルプスでは本年度は全山山小屋およびテント場は閉鎖、甲斐駒ヶ岳においては営業するも宿泊人数制限等があり、例年通りの活動は望めそうもないのが現状である。

現在のところ、原則日帰り2日間の制約のなかで実施予定である。(古屋寿隆)

## 感染症拡大防止のための行動を

日本山岳会はじめ山岳4団体は、4月20日、新型コロナウイルス感染拡大防止のための声明を公表。また39県の緊急事態宣言が解除されたのち、5月18日に2度目の声明を発表した。さらに緊急事態宣言全面解除を受けて、5月25日には山岳スポーツ再開に向けての基本的なガイドラインを策定した。

感染症拡大第二波も懸念される状況の下、登山活動はどうあるべきか。山梨支部としてはこのガイドラインを、支部及び会員個人が順守すべき行動指針としたい。このことが一日も早い登山活動の平常化に寄与することになると考える。(ガイドラインは別添文書、または本部ホームページ参照)

## 理事会報告

- 4月18日 理事会(定時総会議案)
- 4月18日 定時総会(令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算)
- 4月18日 臨時理事会(新役員担当業務、古道踏査委員会設立)
- 5月19日 理事会(2020年度主要事業実施計画、第6回やまなし登山基礎講座、支部行事と新型コロナウイルス対応、支部通信)
- 6月9日 理事会(やまなし登山基礎講座、古道踏査)

## 編集後記

「支部通信」第3期第8号をお届けします。新型コロナウイルス感染拡大により、今年度は定時総会、理事会、支部山行などについて、特例的な対応を取らざるを得ませんでした。今後、感染症の第二波・第三波の発生も危惧される状況ですが、一定の感染収束にある現在、本支部は秋以降の活動再開に向けて準備を進めてまいります。ご協力をお願いいたします。

住所:408-0114 山梨県北杜市須玉町藤田502 TEL:090-7734-2788

Eメール:yazaki-s@taupe.plala.or.jp

広報担当 矢崎茂男